

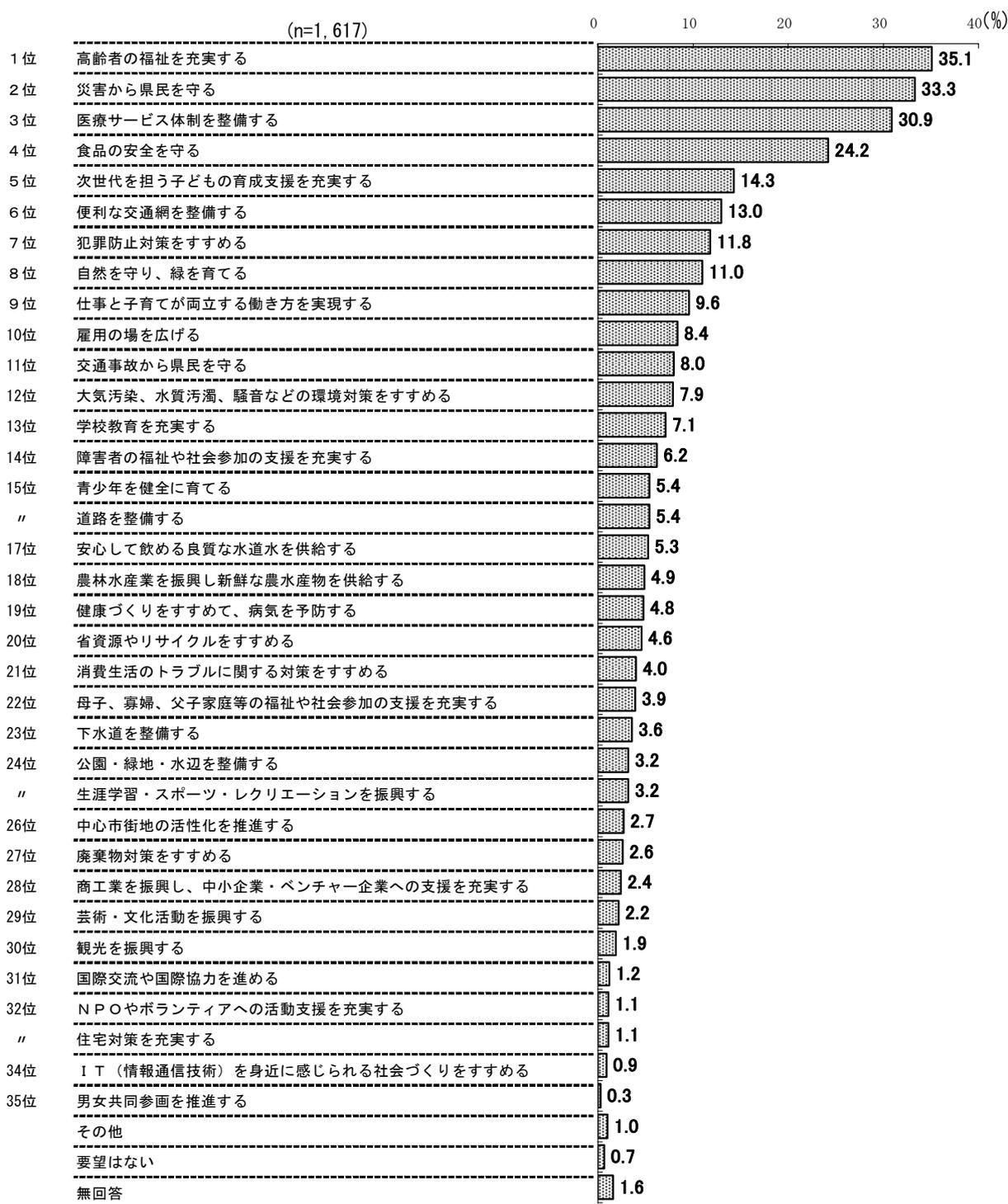
9 県政への要望

(1) 県政への要望

◇「高齢者の福祉を充実」が最も多く、ついで「災害から県民を守る」

問35 県政全般について、今後あなたが特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

<図表 9-1> 県政への要望（複数回答）



県政への要望を3つまで選んでもらったところ、上位3位は「高齢者の福祉を充実する」が1位（35.1%）で、ついで、「災害から県民を守る」が2位（33.3%）、「医療サービス体制を整備する」が3位（30.9%）で、それぞれ3割を超え、県民からの要望が特に高い。次いで、「食品の安全を守る」は4位（24.2%）で、2割台半ばになっている。（図表9-1）

【地域別】

いずれの地域においても、「災害から県民を守る」、「高齢者の福祉を充実する」、「医療サービス体制を整備する」が上位3位となっている。「災害から県民を守る」は“西地域”（36.5%）で、「高齢者の福祉を充実する」は“中央地域”（35.0%），“東地域”（35.7%）と“南地域”（39.3%）で、それぞれ第1位となっている。（図表9-3～4）

【性別、性・年代別】

性別では、男女ともに上位3位は「高齢者の福祉を充実する」、「災害から県民を守る」、「医療サービス体制を整備する」になっている。

性・年代別では、「高齢者の福祉を充実する」は男女とも60歳以上で第1位となっており、男性（49.6%）、女性（52.8%）とも他の年代に比べかなり高い比率となっている。「災害から県民を守る」は男性の20代（23.4%）、30代（34.5%）及び女性の20代（30.7%）と40代（34.9%）で第1位となっている。

「医療サービス体制を整備する」は男性の50代（34.0%）で第1位になっている。「食品の安全を守る」は女性の60歳以上（38.0%）で第2位となっている。「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」は女性の30代（29.4%）が2位で高い順位となっている。「仕事と子育てが両立する働き方を実現する」は、女性の30代（30.6%）で第1位にあげられており、他の年代よりかなり高い比率となっている。（図表9-3～4）

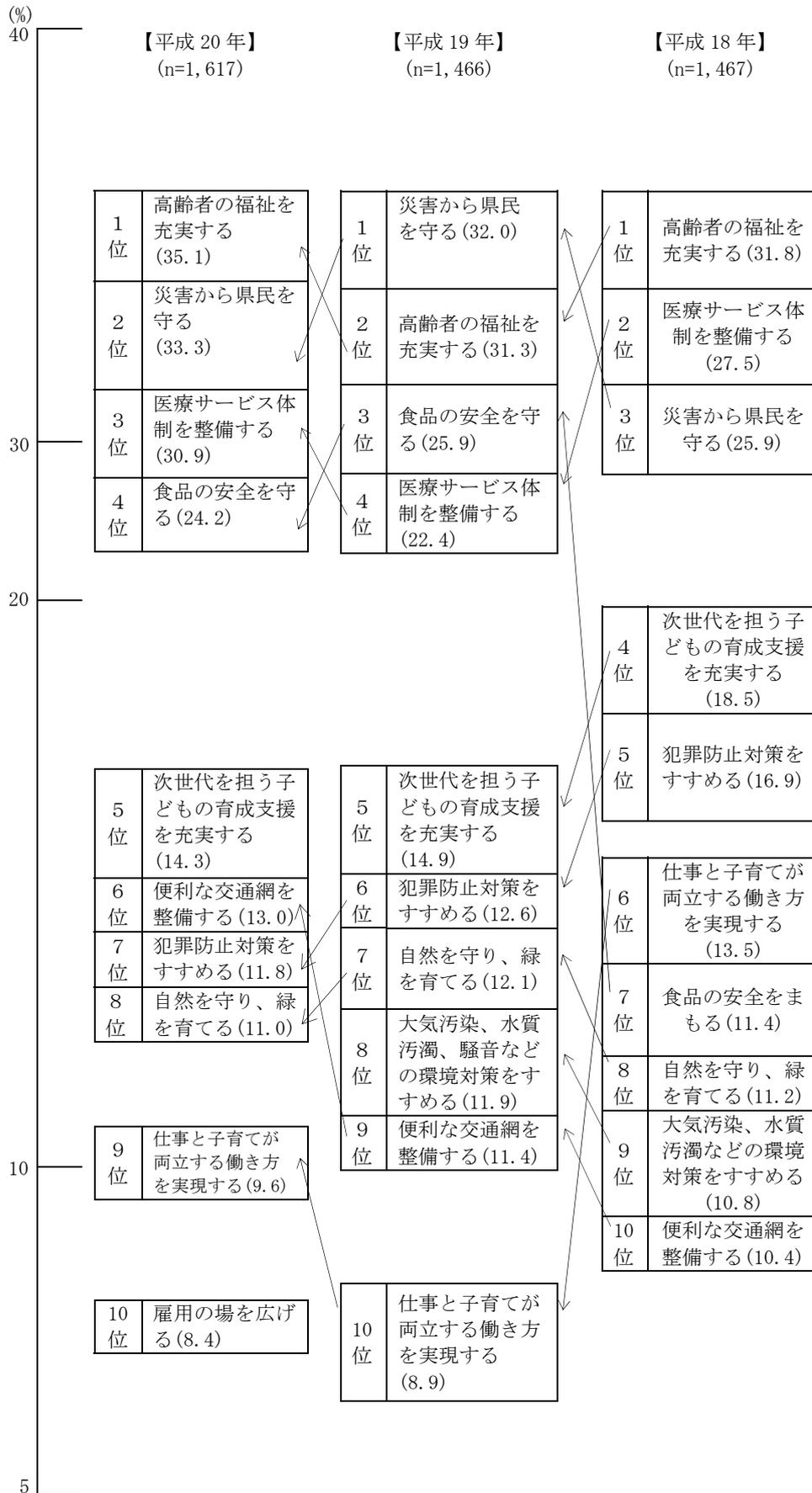
【参考】平成18年以降の同様の項目による調査結果との比較（上位10項目の推移）（図表9-2）

【経年変化の特徴】

1. 「高齢者の福祉を充実する」が昨年2位（31.3%）から1位（35.1%）、「災害から県民を守る」は昨年1位（32.0%）から2位（33.3%）となった。
2. 「医療サービス体制を整備する」が昨年4位（22.4%）と比べ、8.5%上昇し、3位（30.9%）となった。
3. 「食品の安全を守る」は、18年度第7位（11.4%）が19年度第3位（25.9%）と順位を上げたが、20年度は第4位（24.2%）となり順位を下げたものの、引き続き高い比率となっている。
4. 新たに「雇用の場を広げる」（前回12位、8.0%）がトップ10（8.4%）入りした。

<図表 9-2> 県政への要望／上位 10 項目の推移

《郵送法》



<図表9-3> 県政への要望（上位1位～5位）／地域別、性別、性・年代別

(%)

	n	1位	2位	3位	4位	5位
全体	1,617	高齢者の福祉を充実する (35.1)	災害から県民を守る (33.3)	医療サービス体制を整備する (30.9)	食品の安全を守る (24.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (14.3)
【地域別】						
中央地域	506	高齢者の福祉を充実する (35.0)	医療サービス体制を整備する (32.2)	災害から県民を守る (31.2)	食品の安全を守る (25.3)	犯罪防止対策をすすめる (12.8)
東地域	283	高齢者の福祉を充実する (35.7)	医療サービス体制を整備する (35.3)	災害から県民を守る (27.9)	食品の安全を守る (22.3)	便利な交通網を整備する (18.0)
南地域	135	高齢者の福祉を充実する (39.3)	災害から県民を守る (37.0)	医療サービス体制を整備する (31.1)	食品の安全を守る (25.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (16.3)
西地域	674	災害から県民を守る (36.5)	高齢者の福祉を充実する (34.4)	医療サービス体制を整備する (28.2)	食品の安全を守る (24.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (15.0)
【性・年代別】						
男性(計)	724	高齢者の福祉を充実する (34.3)	災害から県民を守る (33.8)	医療サービス体制を整備する (28.9)	食品の安全を守る (19.3)	犯罪防止対策をすすめる (13.7)
20代	77	災害から県民を守る (23.4)	医療サービス体制を整備する (22.1)	食品の安全を守る (19.5)	便利な交通網を整備する (18.2)	犯罪防止対策をすすめる (15.6)
30代	113	災害から県民を守る (34.5)	医療サービス体制を整備する (28.3)	便利な交通網を整備する／自然を守り、緑を育てる (20.4)		高齢者の福祉を充実する (17.7)
40代	111	高齢者の福祉を充実する (29.7)	災害から県民を守る (26.1)	医療サービス体制を整備する (24.3)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (18.9)	犯罪防止対策をすすめる (16.2)
50代	153	医療サービス体制を整備する (34.0)	高齢者の福祉を充実する (33.3)	災害から県民を守る (28.1)	食品の安全を守る (17.0)	便利な交通網を整備する (13.7)
60歳以上	268	高齢者の福祉を充実する (49.6)	災害から県民を守る (43.3)	医療サービス体制を整備する (29.9)	食品の安全を守る (24.6)	犯罪防止対策をすすめる (10.8)
女性(計)	872	高齢者の福祉を充実する (35.7)	災害から県民を守る (32.7)	医療サービス体制を整備する (32.2)	食品の安全を守る (28.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (15.7)
20代	101	災害から県民を守る (30.7)	医療サービス体制を整備する (27.7)	高齢者の福祉を充実する (25.7)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (24.8)	便利な交通網を整備する (21.8)
30代	170	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (30.6)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する／医療サービス体制を整備する (29.4)	災害から県民を守る (23.5)	食品の安全を守る (17.6)	
40代	129	災害から県民を守る (34.9)	医療サービス体制を整備する (34.1)	食品の安全を守る (29.5)	高齢者の福祉を充実する (21.7)	便利な交通網を整備する (18.6)
50代	201	高齢者の福祉を充実する (43.3)	医療サービス体制を整備する (38.8)	災害から県民を守る (34.3)	食品の安全を守る (29.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (13.4)
60歳以上	271	高齢者の福祉を充実する (52.8)	食品の安全を守る (38.0)	災害から県民を守る (36.9)	医療サービス体制を整備する (29.9)	自然を守り、緑を育てる (12.2)

<図表 9-4> 県政への要望（上位 6 位～10 位）／地域別、性別、性・年代別

(%)

	n	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体	1,617	便利な交通網を整備する(13.0)	犯罪防止対策をすすめる(11.8)	自然を守り、緑を育てる(11.0)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(9.6)	雇用の場を広げる(8.4)
【地域別】						
中央地域	506	便利な交通網を整備する(12.6)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する(11.7)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(10.3)	自然を守り、緑を育てる(9.5)	雇用の場を広げる(9.1)
東地域	283	次世代を担う子どもの育成支援を充実する(17.0)	雇用の場を広げる(11.0)	自然を守り、緑を育てる(10.6)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(10.2)	犯罪防止対策をすすめる(8.8)
南地域	135	便利な交通網を整備する(14.1)	自然を守り、緑を育てる／雇用の場を広げる(11.9)		犯罪防止対策をすすめる(11.1)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(8.1)
西地域	674	自然を守り、緑を育てる／犯罪防止対策をすすめる(12.5)		便利な交通網を整備する(11.4)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(9.1)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる(8.9)
【性・年代別】						
男性(計)	724	便利な交通網を整備する(13.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する(12.7)	自然を守り、緑を育てる(11.5)	交通事故から県民を守る(10.1)	雇用の場を広げる(9.0)
20代	77	高齢者の福祉を充実する／次世代を担う子どもの育成支援を充実する／自然を守り、緑を育てる(14.3)			大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる(11.7)	交通事故から県民を守る(9.1)
30代	113	次世代を担う子どもの育成支援を充実する(17.7)	犯罪防止対策をすすめる(15.9)	食品の安全を守る(14.2)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(13.3)	雇用の場を広げる(10.6)
40代	111	食品の安全を守る／便利な交通網を整備する(15.3)		自然を守り、緑を育てる(12.6)	学校教育を充実する(11.7)	交通事故から県民を守る(10.8)
50代	153	犯罪防止対策をすすめる(13.7)	雇用の場を広げる(13.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する(11.1)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる(10.5)	交通事故から県民を守る(9.8)
60歳以上	268	交通事故から県民を守る(10.4)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する／自然を守り、緑を育てる(8.6)		便利な交通網を整備する(7.8)	農林水産業を振興し新鮮な農水産物を供給する(7.1)
女性(計)	872	便利な交通網を整備する(12.6)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(12.5)	自然を守り、緑を育てる(10.8)	犯罪防止対策をすすめる(10.4)	雇用の場を広げる(7.8)
20代	101	犯罪防止対策をすすめる(20.8)	食品の安全を守る(14.9)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する／自然を守り、緑を育てる(12.9)		障害者の福祉や社会参加の支援を充実する／雇用の場を広げる(8.9)
30代	170	高齢者の福祉を充実する(15.9)	学校教育を充実する(14.1)	犯罪防止対策をすすめる(11.8)	便利な交通網を整備する(11.2)	母子、寡婦、父子家庭等の福祉や社会参加の支援を充実する(10.0)
40代	129	次世代を担う子どもの育成支援を充実する／学校教育を充実する(16.3)		大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる(12.4)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する／犯罪防止対策をすすめる(10.1)	
50代	201	雇用の場を広げる(12.4)	便利な交通網を整備する／自然を守り、緑を育てる(10.4)		犯罪防止対策をすすめる(9.5)	青少年を健全に育てる(7.5)
60歳以上	271	次世代を担う子どもの育成支援を充実する(9.6)	便利な交通網を整備する／障害者の福祉や社会参加の支援を充実する／安心して飲める良質な水道水を供給する(8.9)			交通事故から県民を守る(8.5)

(1-1) 各政策への具体的な要望

問36 問35で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。問35で選んだ3項目についてのみ、具体的要望項目から1つずつ選んで番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

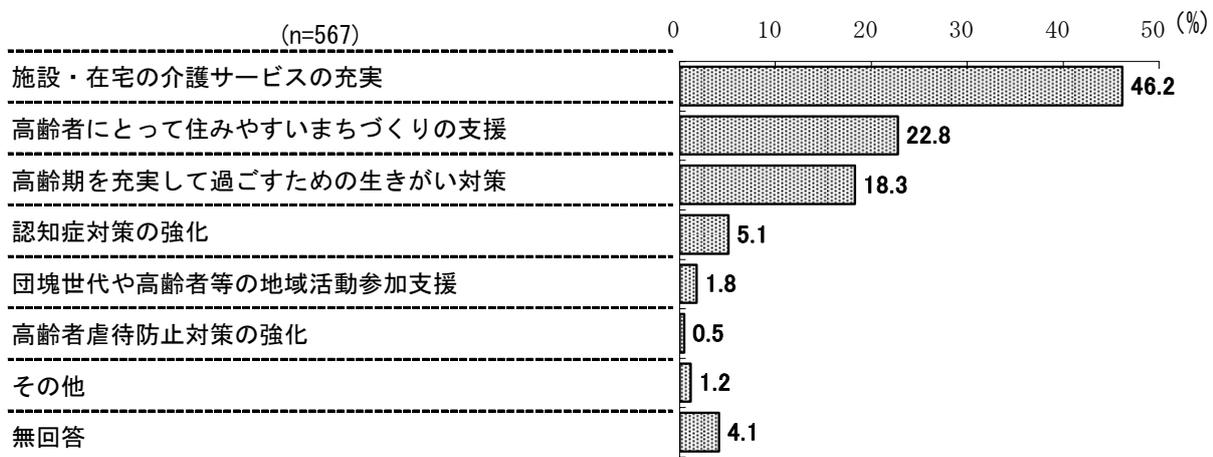
問35で県政への要望を3つまでたずね、その選んだ要望に関して、それぞれ具体的にどのようなことを望んでいるかを聞いた。

ここからは、それぞれの結果を図示していくが、問35の回答状況次第では、nの値が少なくなるものもあり、その場合は参考ということを示す。

1 高齢者の福祉を充実する (35.1%、1位)

「施設・在宅の介護サービスの充実」(46.2%)が4割台半ばで最も高く、次いで、「高齢者にとって住みやすいまちづくりの支援」(22.8%)が2割を超えている。(図表9-5)

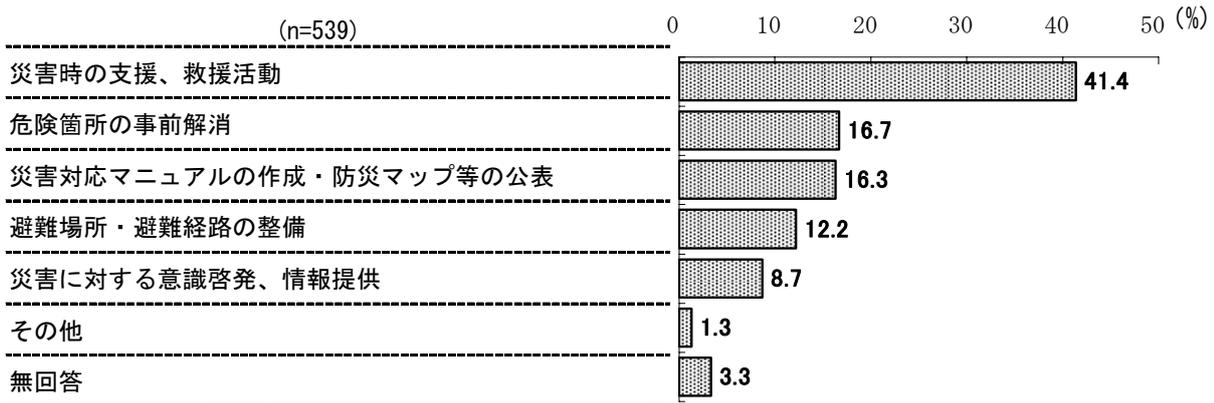
<図表9-5> 高齢者の福祉を充実する



2 災害から県民を守る (33.3%、2位)

「災害時の支援、救援活動」(41.4%)が4割を超え最も高く、「危険箇所の事前解消」(16.7%)、「災害対応マニュアルの作成・防災マップ等の公表」(16.3%)が続く。(図表9-6)

＜図表9-6＞災害から県民を守る



3 医療サービス体制を整備する (30.9%、3位)

「医師・看護師等医療技術者の確保」(24.4%)が2割台半ばで最も高く、次いで「医療設備の整備」「緊急医療体制の整備」(ともに20.2%)と続く。(図表9-7)

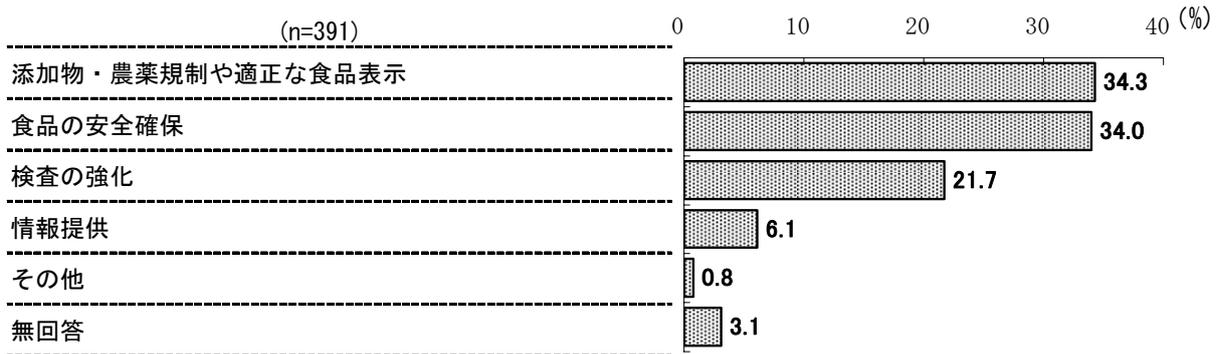
＜図表9-7＞医療サービス体制を整備する



4 食品の安全を守る (24.2%、4位)

「添加物・農薬規制や表示の確実性」(34.3%)、「食品の安全確保」(34.0%)が3割を超え、次いで「検査の強化」(21.7%)、これら上位3項目が突出している。(図表9-8)

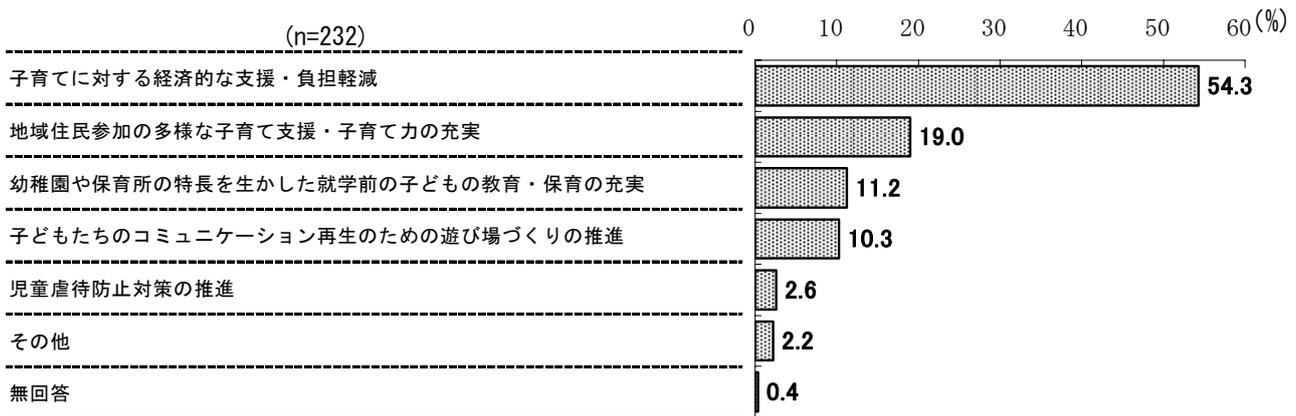
＜図表9-8＞食品の安全を守る



5 次世代を担う子どもの育成支援を充実する (14.3%、5位)

「子育てに対する経済的な支援・負担軽減」(54.3%)が5割台半ばで最も高くなっている。次いで、「地域住民参加の多様な子育て支援・子育て力の充実」(19.0%)が約2割となっている。(図表9-9)

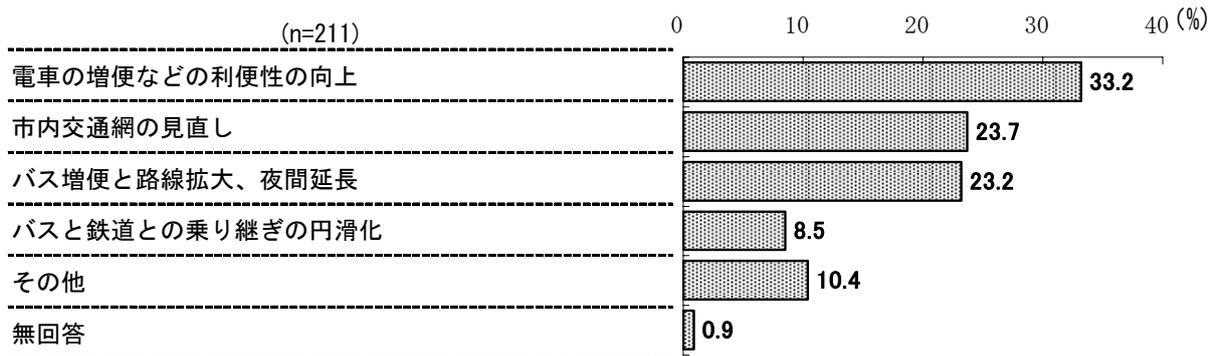
＜図表9-9＞次世代を担う子どもの育成支援を充実する



6 便利な交通網を整備する（13.0%、6位）

「電車の増便などの利便性の向上」（33.2%）が3割台半ばで最も高く、次いで、「市内交通網の見直し」（23.7%）、「バス増便と路線拡大、夜間延長」（23.2%）となっている。（図表9-10）

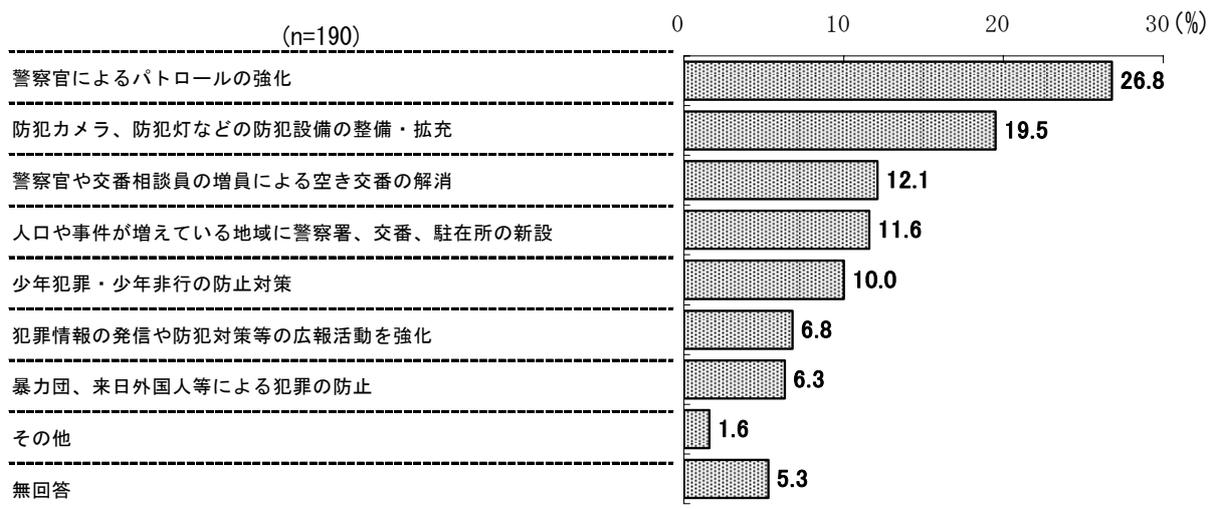
＜図表9-10＞便利な交通網を整備する



7 犯罪防止対策をすすめる（11.8%、7位）

「警察官によるパトロールの強化」（26.8%）が2割台半ばと最も高くなっている。次いで、「防犯カメラ、防犯灯などの防犯設備の整備・拡充」（19.5%）が約2割で続いている。（図表9-11）

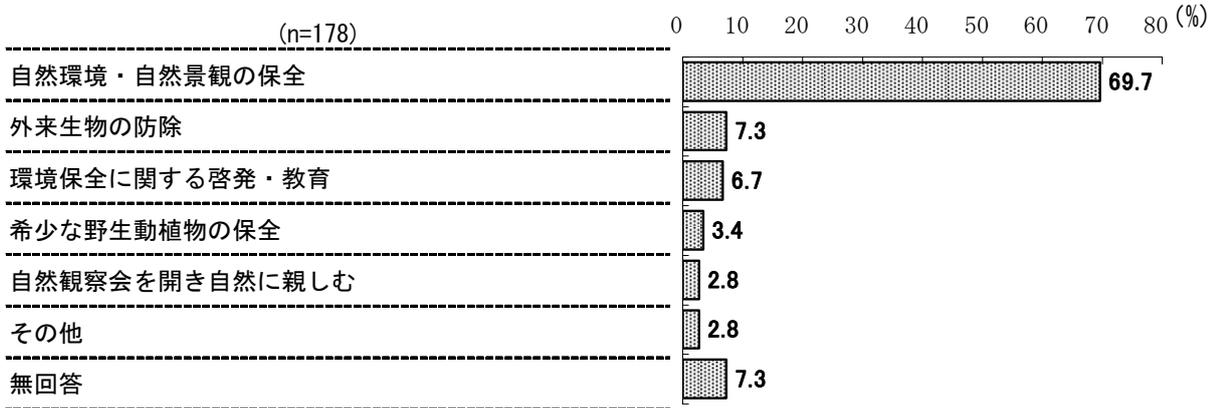
＜図表9-11＞犯罪防止対策をすすめる



8 自然を守り、緑を育てる（11.0%、8位）

「自然環境・自然景観の保全」（69.7%）が約7割と最も高くなっている。（図表9-12）

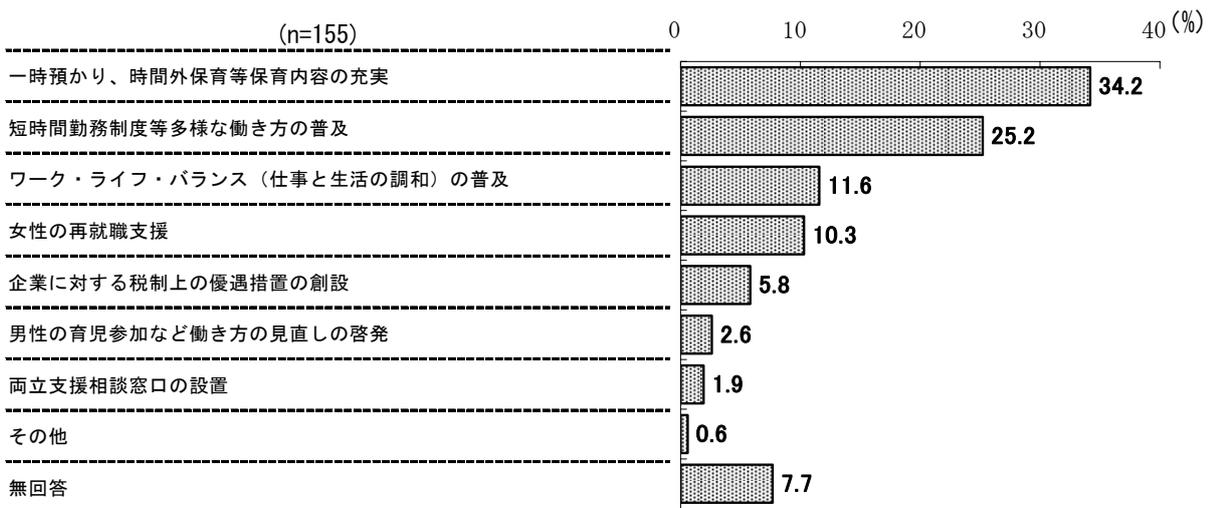
<図表9-12>自然を守り、緑を育てる



9 仕事と子育てが両立する働き方を実現する（9.6%、9位）

「一時預かり、時間外保育等保育内容の充実」（34.2%）が3割台半ばで最も高く、次いで、「短時間勤務制度等多様な働き方の普及」が25.2%続いている。（図表9-13）

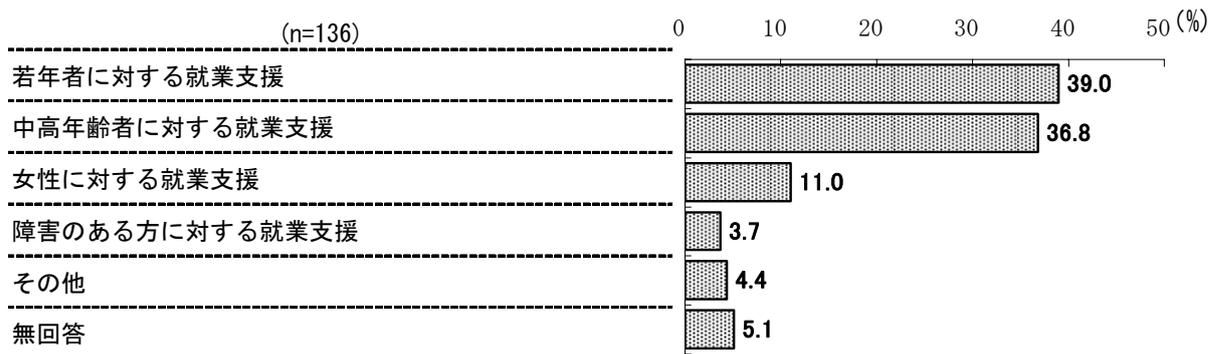
<図表9-13>仕事と子育てが両立する働き方を実現する



10 雇用の場を広げる (8.4%、10位)

「若年層に対する就業支援」(39.0%)が約4割で最も高くなっている。次いで、「中高年層に対する就業支援」(36.8%)が3割台半ばである。(図表9-14)

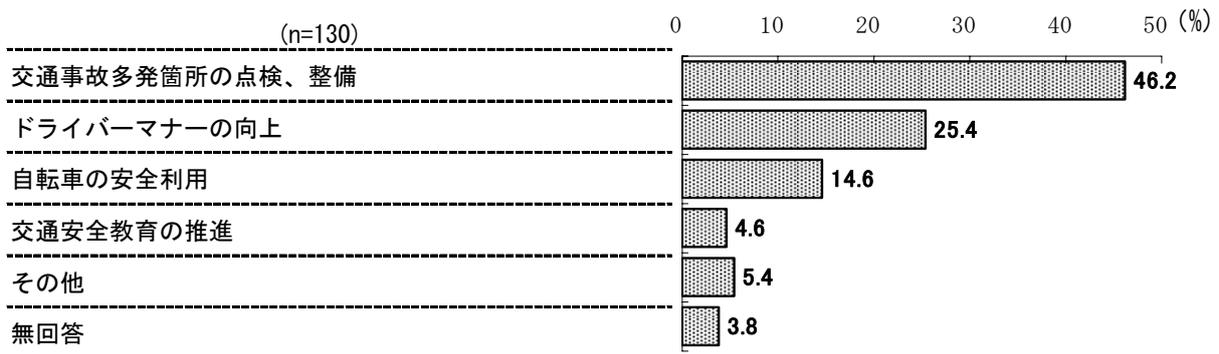
＜図表9-14＞雇用の場を広げる



11 交通事故から県民を守る (8.0%、11位)

「交通事故多発箇所の点検、整備」(46.2%)と「ドライバーマナーの向上」(25.4%)が突出している。(図表9-15)

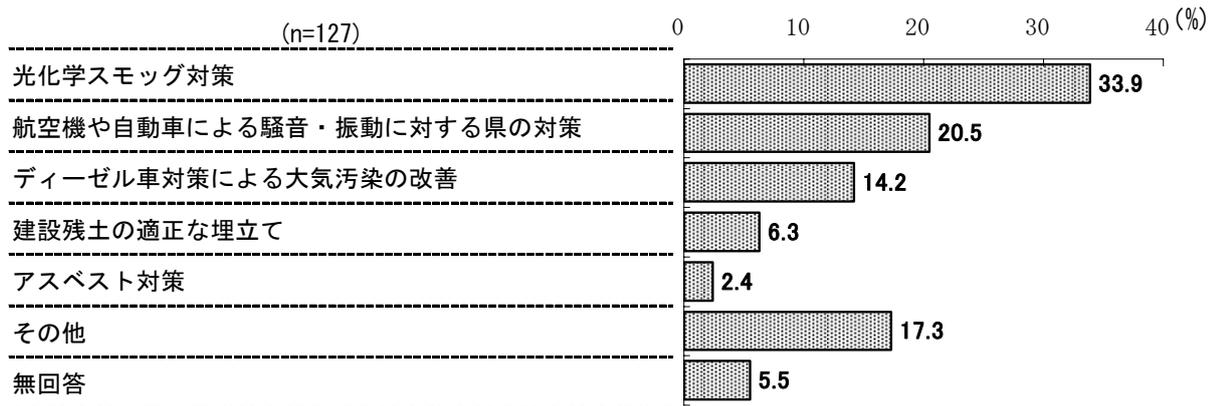
＜図表9-15＞交通事故から県民を守る



12 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる（7.9%、12位）

「光化学スモッグ対策」（33.9%）が3割台半ばで、「航空機や自動車による騒音・振動に対する県の対策」が20.5%で続く。（図表9-16）

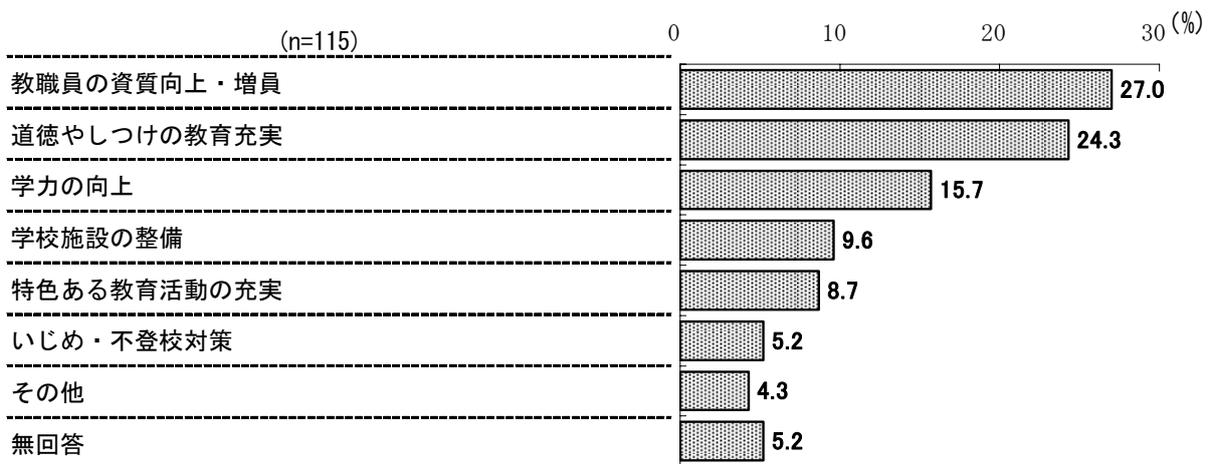
＜図表9-16＞大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる



13 学校教育を充実する（7.1%、13位）

「教職員の資質向上・増員」（27.0%）が約3割で最も高く、次いで、「道徳やしつけの教育充実」（24.3%）が2割台半ばとなっている。（図表9-17）

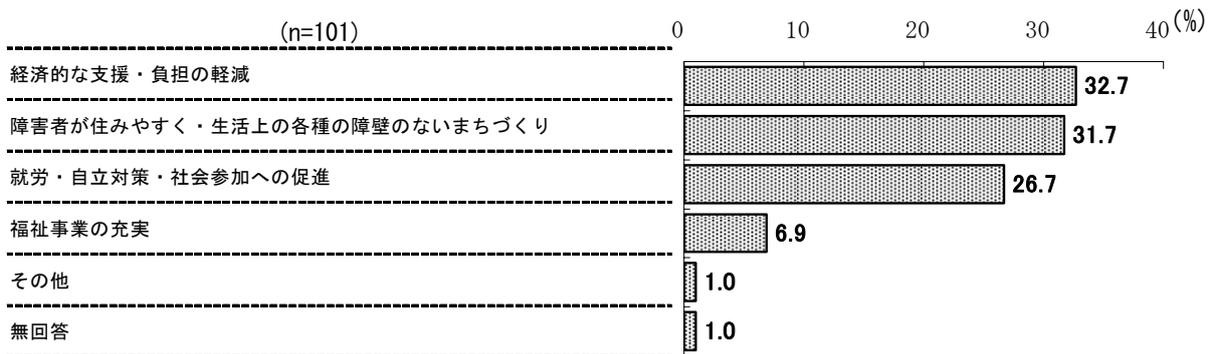
＜図表9-17＞学校教育を充実する



14 障害者の福祉や社会参加の支援を充実する（6.2%、14位）

「経済的な支援・負担の軽減」（32.7%）が最も高く、「障害者が住みやすく・生活上の各種の障壁のないまちづくり」（31.7%）が僅差で続く。「就労・自立対策・社会参加への促進」（26.7%）が2割台半ばとなっている。（図表9-18）

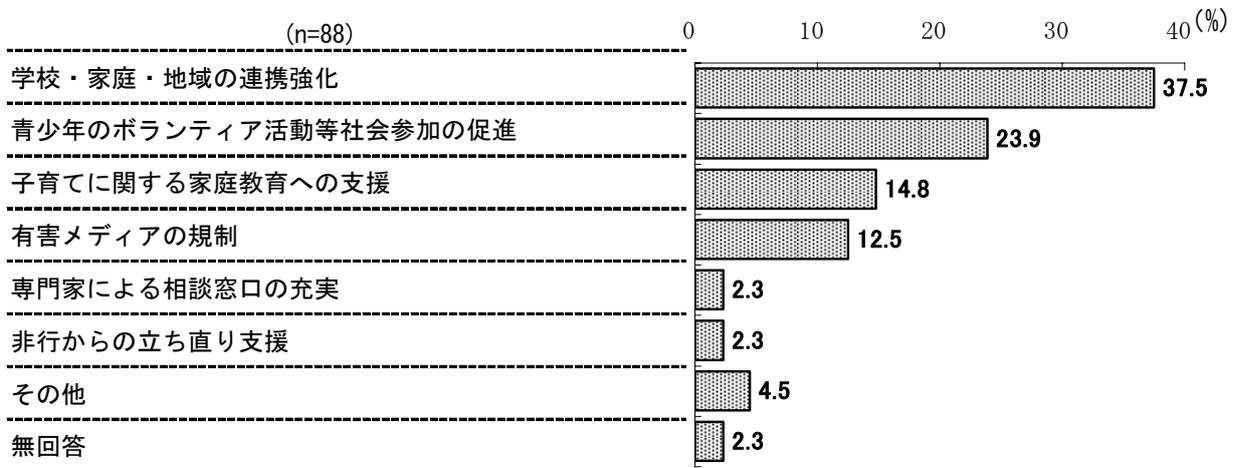
<図表9-18> 障害者の福祉や社会参加の支援を充実する



15 青少年を健全に育てる（5.4%、15位）

「学校・家庭・地域の連携強化」（37.5%）が約4割で突出している。（図表9-19）

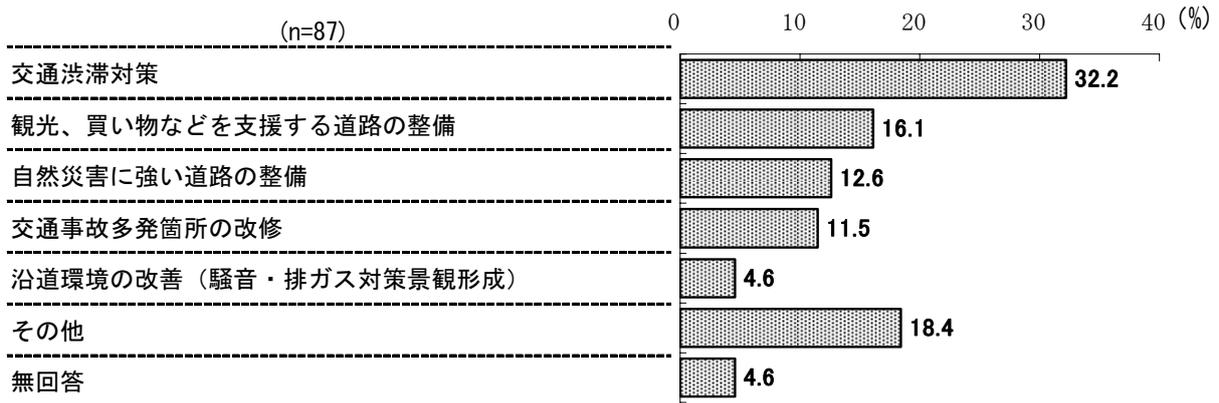
<図表9-19> 青少年を健全に育てる



16 道路を整備する (5.4%、15位)

「交通渋滞対策」(32.2%)が3割を超え、最も高い。(図表9-20)

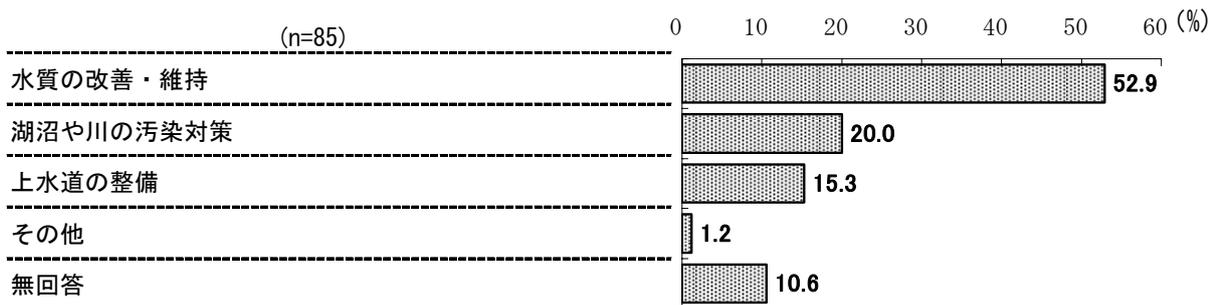
<図表9-20>道路を整備する



17 安心して飲める良質な水道水を供給する (5.3%、17位)

「水質の改善・維持」(52.9%)が5割を超え最も高く、次いで、「湖沼や川の汚染対策」(20.0%)が2割となっている。(図表9-21)

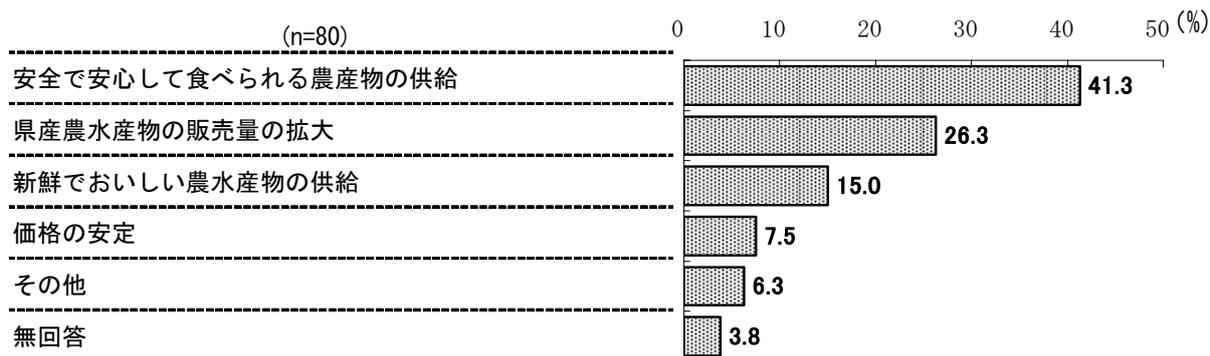
<図表9-21>安心して飲める良質な水道水を供給する



18 農林水産業を振興し新鮮な農水産物を供給する (4.9%、18位)

「安全で安心して食べられる農産物の生産」(41.3%)が4割を超え最も高く、次いで、「県産農水産物の販売量の拡大」(26.3%)が2割台半ばとなっている。(図表9-22)

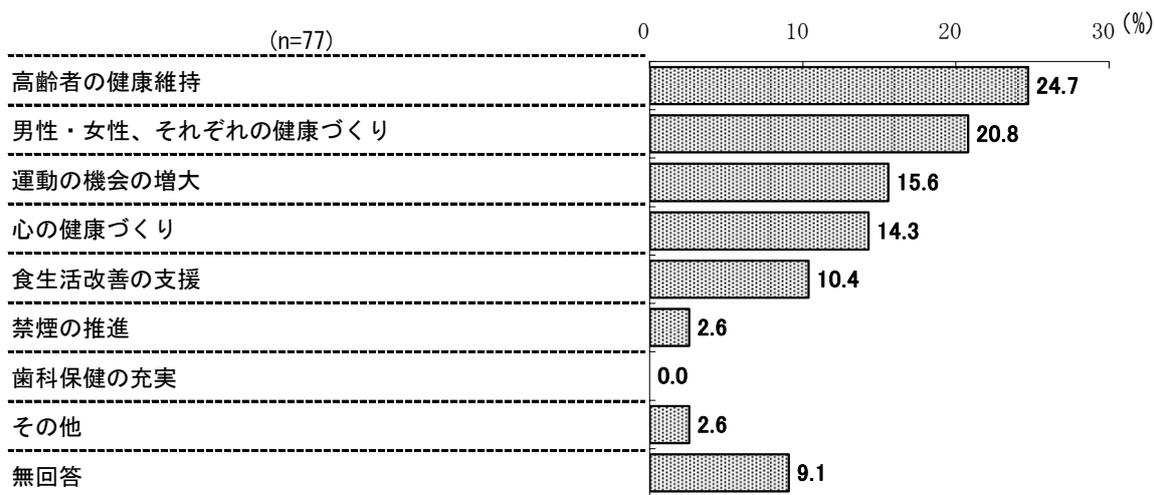
<図表9-22> 農林水産業を振興し新鮮な農水産物を供給する



19 健康づくりをすすめて、病気を予防する (4.8%、19位)

「高齢者の健康維持」(24.7%)が2割台半ばで最も高い。次いで、「男性・女性、それぞれの健康づくり」(20.8%)が続く。(図表9-23)

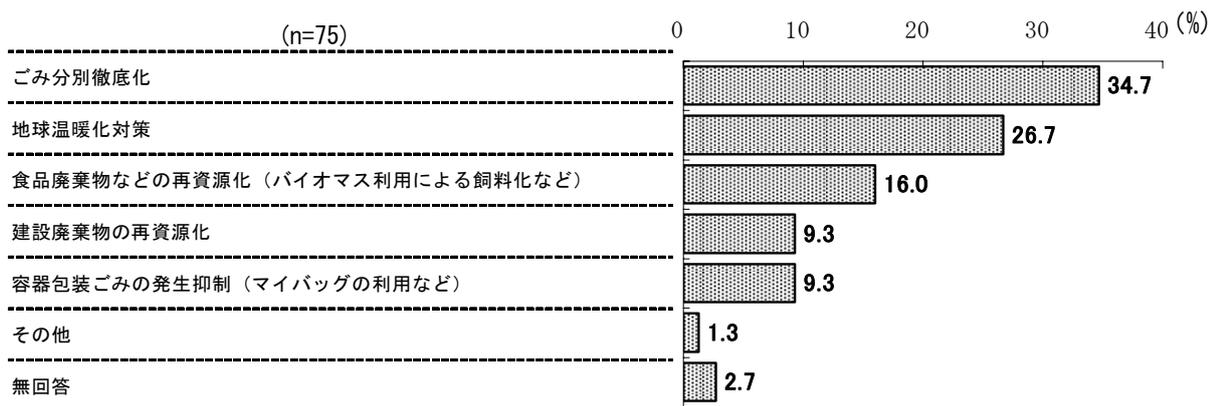
<図表9-23> 健康づくりをすすめて、病気を予防する



20 省資源やリサイクルをすすめる (4.6%、20位)

「ごみ分別徹底化」(34.7%)が3割台半ばで最も多く、次いで「地球温暖化対策」が26.7%と続く。(図表9-24)

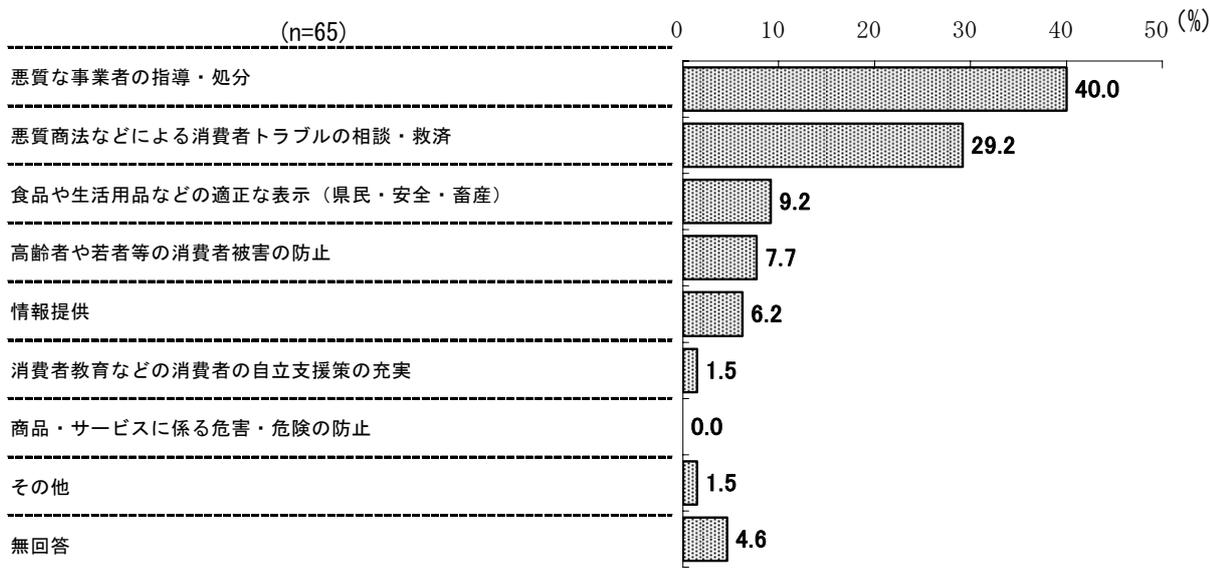
＜図表9-24＞省資源やリサイクルをすすめる



21 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる (4.0%、21位)

「悪質な事業者の指導・処分」(40.0%)が4割、「悪徳商法などによる消費者トラブルの相談・救済」(29.2%)が約3割とこれら上位2項目が突出している。(図表9-25)

＜図表9-25＞消費生活のトラブルに関する対策をすすめる



22 母子、寡婦、父子家庭等の福祉や社会参加の支援を充実する (3.9%、22位)

「母子、寡婦、父子家庭への経済的支援体制の充実」(46.0%)が4割台半ばで最も高くなっている。次いで、「母子、寡婦、父子家庭への子育て・生活支援体制の充実」(36.5%)が3割台半ばである。
(図表9-26)

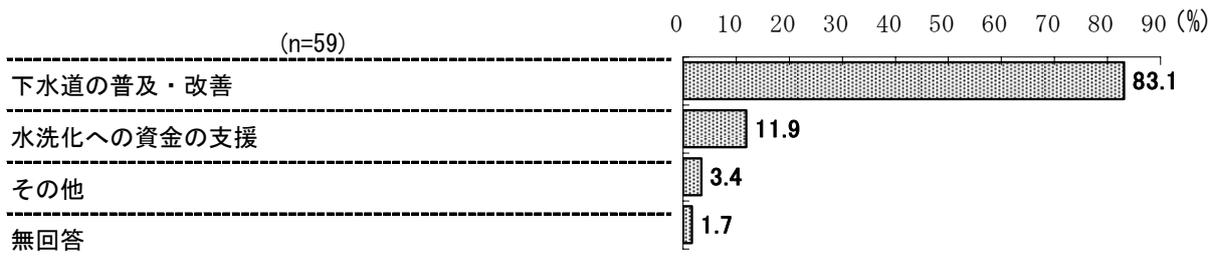
<図表9-26> 母子、寡婦、父子家庭等の福祉や社会参加の支援を充実する



23 下水道を整備する (3.6%、23位)

「下水道の普及・改善」(83.1%)が8割台半ばで最も高い。(図表9-27)

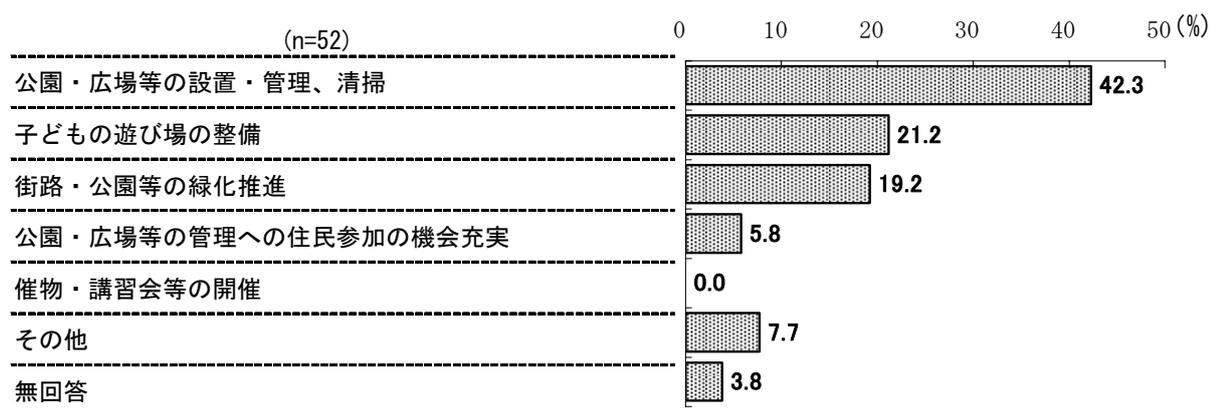
<図表9-27> 下水道を整備する



24 公園・緑地・水辺を整備する（3.2%、24位）

「公園・広場等の設置・管理、清掃」（42.3%）が4割を超え最も高い。次いで「子どもの遊び場の整備」（21.2%）は2割を超え、「街路・公園等の緑化推進」（19.2%）が約2割となっている。（図表9-28）

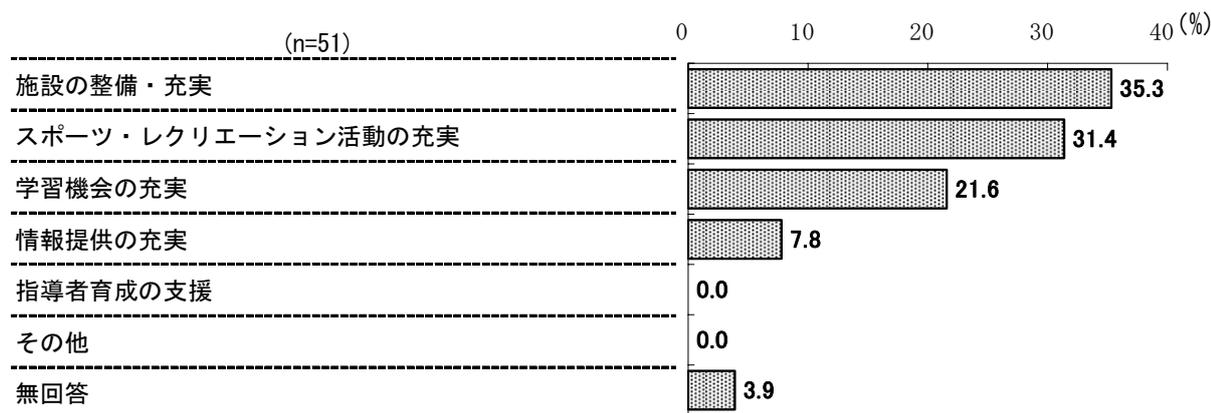
＜図表9-28＞公園・緑地・水辺を整備する



25 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する（3.2%、24位）

「施設の整備・充実」（35.3%）が3割台半ば、次いで、「スポーツ・レクリエーション活動の充実」が31.4%で、「学習機会の充実」が21.6%で続く。（図表9-29）

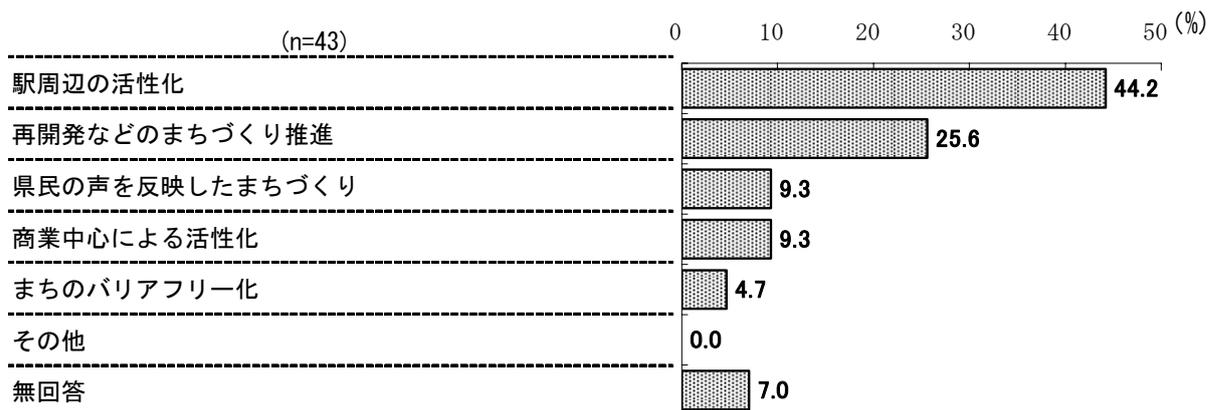
＜図表9-29＞生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する



26 中心市街地の活性化を推進する (2.7%、26 位)

「駅周辺の活性化」(44.2%) が4割台半ばで最も高く、次いで、「再開発などのまちづくり推進」(25.6%) と続く。(図表9-30)

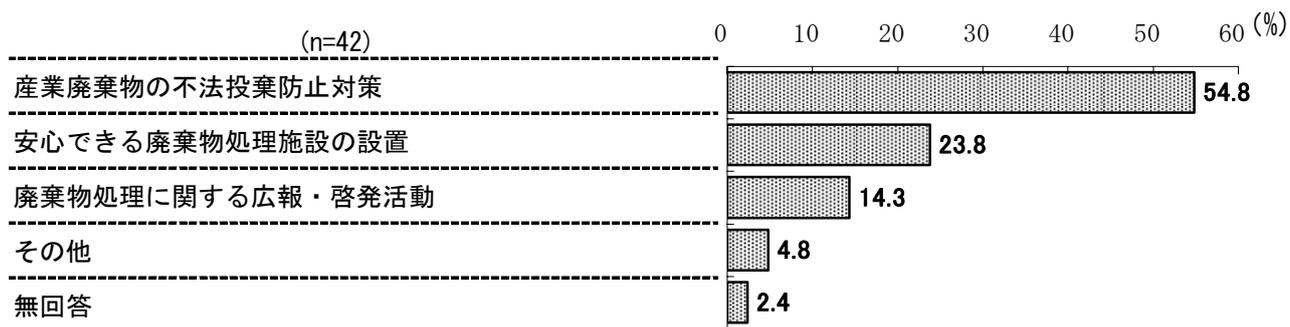
＜図表9-30＞中心市街地の活性化を推進する



27 廃棄物対策をすすめる (2.6%、27 位)

「産業廃棄物の不法投棄防止対策」(54.8%) が5割台半ばで最も高い。(図表9-31)

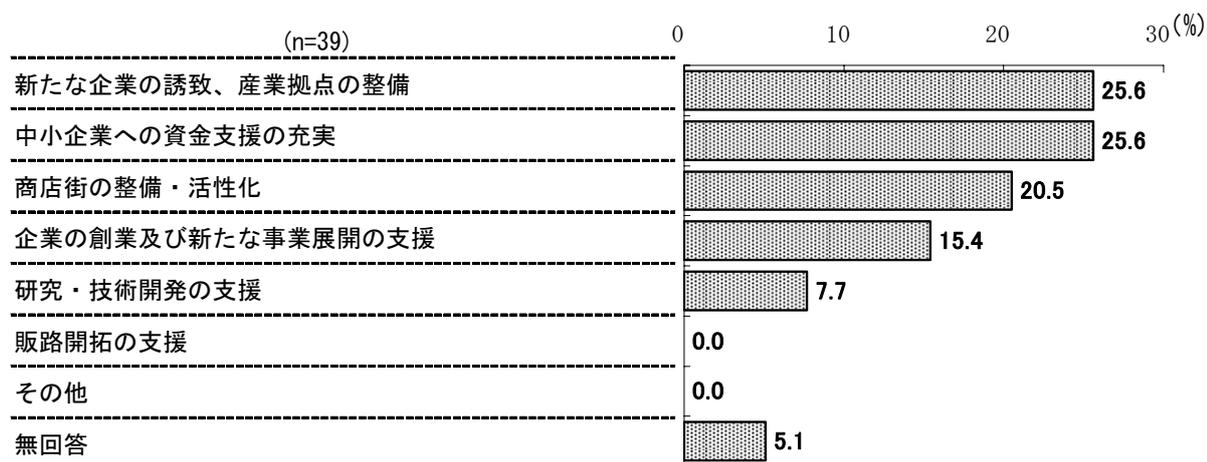
＜図表9-31＞廃棄物対策をすすめる



28 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する (2.4%、28位)

「新たな企業の誘致、産業拠点の整備」、「中小企業の資金支援の充実」(ともに 25.6%) が2割台半ばで最も高い。(図表 9-32)

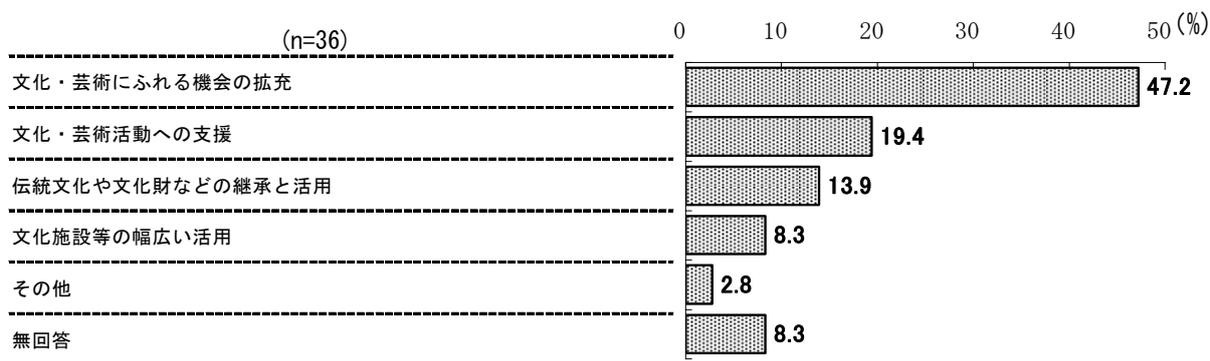
＜図表 9-32＞商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する



29 芸術・文化活動を振興する (2.2%、29位)

「文化・芸術にふれる機会の拡充」(47.2%) が約5割で突出している。(図表 9-33)

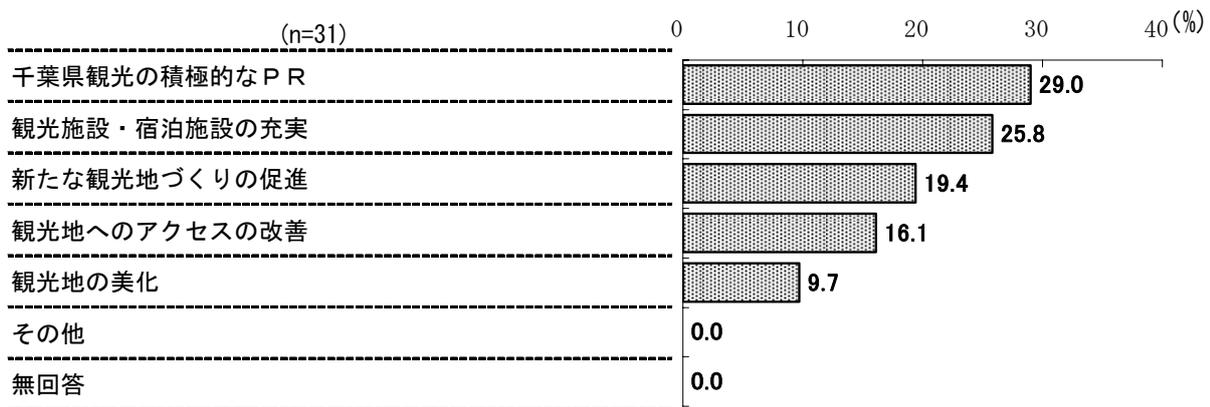
＜図表 9-33＞芸術・文化活動を振興する



30 観光を振興する (1.9%、30 位)

「千葉県観光の積極的なPR」(29.0%) が約3割と最も高く、次いで「観光施設・宿泊施設の充実」が25.8%である。(図表9-34)

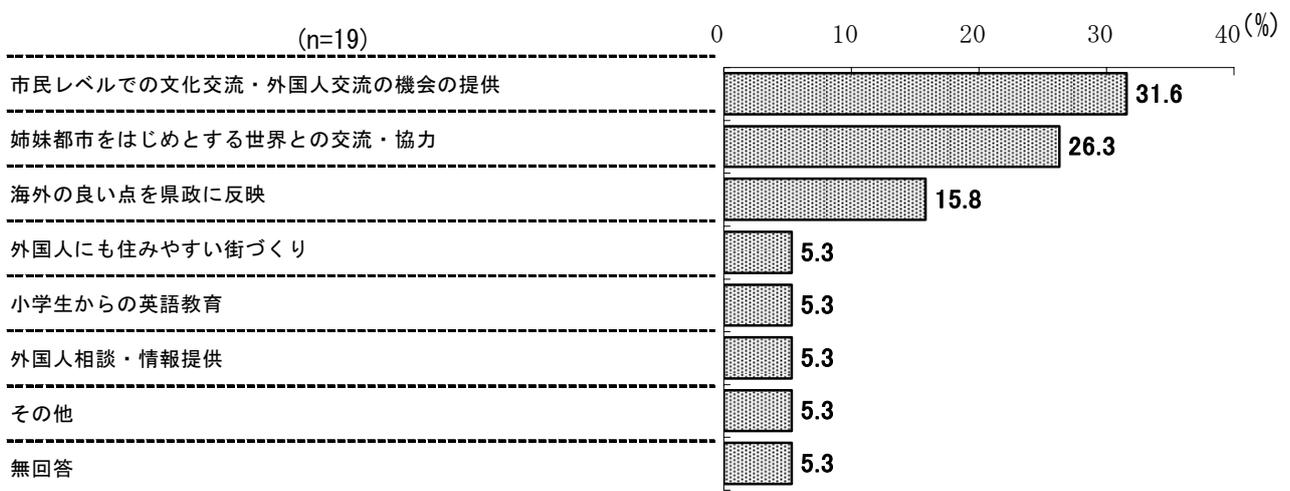
<図表9-34>観光を振興する



31 国際交流や国際協力をすすめる (1.2%、31 位)

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。(図表9-35)

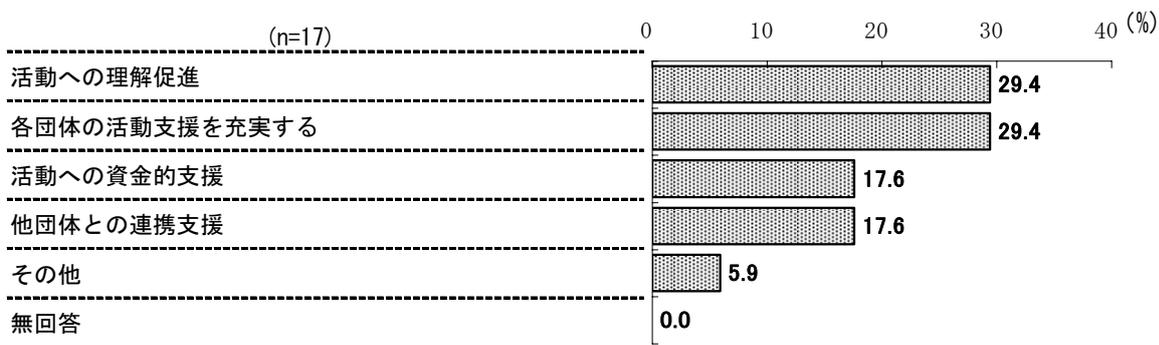
<図表9-35>国際交流や国際協力をすすめる



32 NPOやボランティアへの活動支援を充実する（1.1%、32位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表9-36）

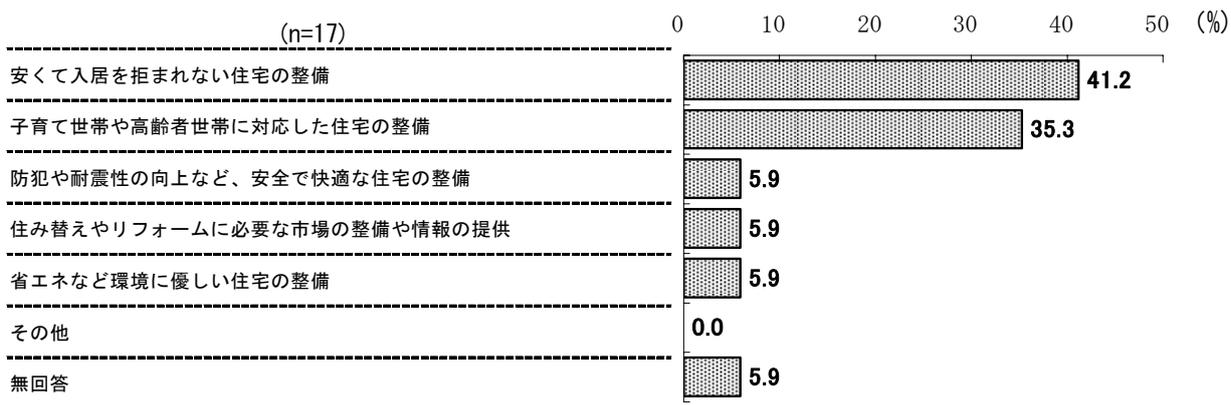
＜図表9-36＞NPOやボランティアへの活動支援を充実する



33 住宅対策を充実する（1.1%、32位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表9-37）

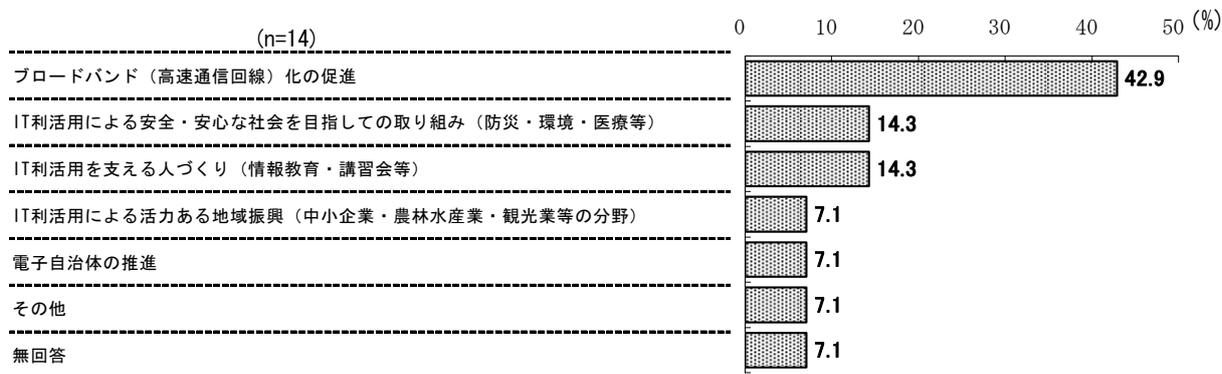
＜図表9-37＞住宅対策を充実する



34 IT（情報通信技術）を生かした社会づくりをすすめる（0.9%、34位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表9-38）

<図表9-38> IT（情報通信技術）を生かした社会づくりをすすめる



35 男女共同参画を推進する（0.3%、35位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表9-39）

<図表9-39> 男女共同参画を推進する

